

電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合の 取りまとめについて

(趣旨)

委員会設立から5年弱が経過し、委員会を巡る状況は大きく変化していること等を踏まえ、委員会のこれまでの活動、今後委員会が注力すべき課題、それら課題に取り組むための委員会の組織の在り方等に関する調査・審議を行うため、本年7月20日付けにて当委員会の下に「電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合（以下、「専門会合」という。）」を設置したところ。

今般、第4回の専門会合（11月25日）での議論を踏まえ、11月27日に取りまとめが行われたため、その内容についてご報告させていただく。

主なポイント

委員会の設立から5年弱が経過する中、多数の事業者が電力・ガス市場に新たに参入し、2020年4月には発送電分離が実現するなど、委員会を巡る状況が大きく変化していること等を踏まえ、別添の有識者を座長及び構成員とする専門会合において、当委員会に対する検証が行われた。

全4回に渡って行われた専門会合においては、電力・ガスシステム改革の狙いに立ち返り、その進展状況や、それについて委員会が果たしてきた役割の評価がなされた。また、今後委員会が注力すべき課題の有無が明らかにされ、その課題に取り組むための委員会の組織の在り方等についても評価がなされ、座長一任の上で、以下の内容を結論とする「電力・ガス取引監視等委員会の検証結果取りまとめ」が11月27日付けで取りまとめられた。

今後の対応方針（案）

専門会合で指摘された課題については、既に取り組んでいるものも含め、短期的に取り組むものと中長期的に取り組むもの等に分類した上で、次回以降それらへの対応策について整理していくこととしたい。

(別添)

電力・ガス取引監視等委員会の検証に関する専門会合
委員名簿

(敬称略、五十音順)

(座長)

山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長

(専門委員)

武田 邦宣 大阪大学 大学院法学研究科 教授

田中 誠 政策研究大学院大学 教授

藤田 由紀子 学習院大学 法学部 教授

丸山 絵美子 慶應義塾大学 法学部 教授